

九州国立博物館では、日本文化がどのようにアジアと関わって形成されてきたのかを実感でき、アジアの文化を知ることのできる文化交流展示を4階にて行っています。当館では、展示や博物館の魅力を伝えるため、ミュージアム講座を実施しております。2007年4月からは月1回の月例講演会（5月は休み）として、文化交流展示室の紹介を行う講座を1年間行っています。6月と7月は文化交流展示室IIテーマを紹介する内容で、展示の楽しみ方などを紹介します。



突線鈕袈裟褙文銅鐃 九州国立博物館蔵

第11回 弥生と古墳時代の対外交流

日時：8月11日（土） 14:00-15:30

講師：市元 壘（九州国立博物館研究員）

内容：弥生時代と古墳時代は対外交流が活性化した時代でした。そこでもたらされた技術、文化、考え方はどのようなものだったのでしょうか。当館の展示品を中心に、その実像に迫ります。

入場
無料

第12回 王塚装飾古墳の謎

- デジタル技術が解き明かす石室・副葬品そして被葬者像 -

日時：9月16日（日） 14:00-15:30

講師：河野一隆（九州国立博物館文化交流展示室長）

内容：桂川町に所在する王塚古墳は、豪華けんらんな彩色壁画と豊かな副葬品が出土したことで全国的にも良く知られています。出土品の公開を記念して、デジタル技術を駆使した研究成果を披露し、古墳の被葬者像に迫ります。



画像提供：東京大学池内研究室・凸版印刷

■場所：九州国立博物館 1階 ミュージアムホール

■申し込み不要（定員 300 名、先着順）